



東北生産性本部

労使定例政策研究会第1回例会開催



9月10日（水）開催 <58名参加>

★テーマ「サイコロジカルビジネス～ビジネスマンの心理学」

★講師 ペルソナ研究所 主宰 工藤 真紀子 氏

第1回例会の講師は、東北では日本エニアグラム学会ファシリテータ資格保持者は3人しかおりませんが、その一人であるペルソナ研究所主宰の工藤真紀子氏をお迎えし開催いたしました。

どんなに優れた組織でも基本は人であり心を基本に考え行動する。個人の関係が、基本となることを考えたとき、個人をどのようにとらえるかが重要であることは、論を待たない。個人間の関係性及び、個人の持つテクニカルスキルが組織のなかで十分に発揮できるようになるためには、どのような組織であるのが望ましいのだろうか。それら、個人の力を発揮できる土壌としてのチームワーク力、個人の能力を組織の力に変えるた



めにはどんな状況を作り維持することが望ましいかを考えたときに、その考え方としてEQと、個人の性格分析理論であるエニアグラムを紹介いただきました。EQ（心の知能指数）は、本来自分の持っている知識・能力を発揮するための

必須能力といわれている感情コントロール理論である。3つの知性と8つの能力24の素養からなっているといわれる。個人が組織の中で、より自分らしく能力を発揮しやすくするための、心構えというべきものである。

一方エニアグラムは個々人の性格を9つに分けその本質から表現される行動、ものの考え方の違いを基に、互いのコミュニケーション力を増し、対応の仕方、仕事の適正分野あるいはグループ構成などに活用できる性格分析学である。加えて、個人の成長の方向性を自ら知ることで、より高い人格形成を促すことも可能である。個々人の関係性をより滑らかに、構築しようとするために、自分自身を知ることが大切なことである。自分を深く知ることで、より他者に理解を深めることができるようになるのも、心理学の不思議さである。

サイコロジカルビジネスとは、心理学を組織づくりや産業の運営などに活用しようとする学問ですが、今回の例会では時間の関係もあり超入門編となりましたが、受講後のアンケートでは「改めて自分を見つめ直すことが出来た」「タイプ毎に違うのが分かった」「職場に活かしたい」「もっと詳細を知りたい」など参加者の皆様から大変好評を得た例会となりました。工藤先生ならびに参加者の皆様たいへんありがとうございました。

今後の労使定例政策研究会の予定について

第2回例会～第4回例会 於：東北電労会館 2階大会議室

例会	日時	演題・講師
第2回	10月15日 14:30～16:30	「ライフステージ別マネープラン」 日本共済協会調査研究部 次長 大滝淳彦 氏
第3回	翌2月4日 14:30～16:30	「クラウド時代のサイバー攻撃、標的型攻撃対策を考える」 東北インフォメーション・システムズ(株)営業企画部セキュリティ担当
第4回	翌3月4日 14:30～16:00	「パワーハラスメントを防止するには」 日本生産性本部ワークライフ部 主任研究員 網藤 正氏